

単元の目標

- ・下校準備の時間に、連絡帳の持ち物欄やメモ欄に準備物や家族への伝達・依頼事項を正確に書き込んで学校準備の手掛かりを整えることができる。(知識・技能)
- ・連絡帳の持ち物欄とメモ欄を手掛かりにして、翌日の学校準備を整える習慣を付ける。(知識・技能)
- ・困ったときに教師に適切に質問や相談をしたり、必要な物が準備できないときに代替案を考えたりすることができる。(思考力・判断力・表現力等)
- ・翌日の準備物や家族への依頼事項などを、カレンダーや行事、時間割から考えたり教師に質問や確認をしたりして、必要な情報を連絡帳に書き留めようとする。(学びに向かう力・人間性等)

情報活用能力の目標

- ・クロームブックのカメラアプリやロイロノート・スクールの基本的な操作方法が分かる。(知識・技能)
- ・準備物のメモを手掛かりに準備したものの写真や確認事項についてロイロノート・スクールを通して担任に送ったり、質問事項や報告内容をカードに書き込んでやりとりしたりすることで、翌日の学校準備を整えることができる。(思考力・判断力・表現力等)
- ・担任からの返信を確認して準備し直したり、自分から質問事項や確認事項をカードに書き込み担任に送信したりすることで、忘れ物なく学校準備を整えようとする。(学びに向かう力・人間性等)

学習グループ、プログラミングツールについて

- ・中学部2年生の生徒1名。
- ・学習支援アプリ「ロイロノート・スクール」を使って、家庭で担任とやりとりをする。

指導計画

第1次	・連絡帳のメモを手掛かりにして持ち物を整えよう。
第2次	・ロイロノート・スクールで準備物の写真を先生に送ろう。
第3次	・ロイロノート・スクールで困ったことや報告したいことを先生に伝えよう。

教材



図1

【ロイロノート・スクール】

ロイロノート・スクールとはクラウド型の授業支援アプリで、文字や写真、動画などの情報をオンライン上でカードとして双方向にやり取りすることができる。カメラ機能を使えばその場で撮った写真を、録音機能を使えば声をデータとして送ることもできる。提出されたカードは一覧で表示することも可能で、生徒の意見を比較したり全体で共有したりすることも容易にできる。

本実践では、生徒は自宅から準備物の写真を持ち物準備カード(図2)に挿入し、担任に提出する。担任は、生徒から提出されたカードに直接称賛の言葉を書き込んだり、見直してほしい部分に印を付けたりして返却することで、双方向のコミュニケーションを行っている。

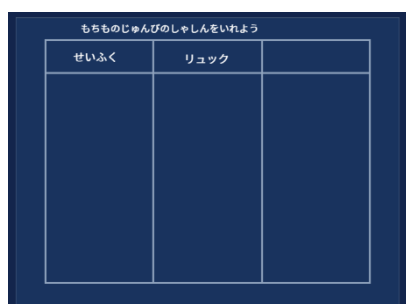


図2

【持ち物準備カード】

生徒は、連絡帳の持ち物欄、メモ欄と照らし合わせ、表の適切な欄に翌日の準備物の写真を挿入する。表には、制服欄(制服をハンガーにかけて収納した写真と、清潔なハンカチとポケットティッシュを挿入)とリュックに入れるもの欄(授業に必要なファイル、プリント、着替えなどの写真を挿入)を設ける。

担任からのコメントや生徒からの質問や報告のコメントは、空いているスペースや欄外に直接書き込む。

実践の流れ

●児童生徒の反応

学習活動	指導上の留意点
<p>①下校準備の時間に、翌日の時間割や学習に必要な準備物、家庭ですることなどを連絡帳に記入する。</p> <p>●先生、明日の△△の授業には何を持ってくればいいですか。</p> <p>●確認印を書いてもらうのを忘れていました。家に帰ったら、お父さんをお願いします。</p>	<p>○教師と一緒に翌日の時間割を確認し、翌日の予定に見通しをもてるようにする。</p> <p>○必要な情報を得るための適切な質問の仕方を事前に確認しておく。</p>
<p>②帰宅後、連絡帳の持ち物欄とメモ欄を手掛かりに翌日の準備を整える。</p>	<p>○準備物に抜けがないように、かばんに入れた物は連絡帳の持ち物欄とメモ欄に印を付けるように促す。</p> <p>○事前に、持ち物準備カードの提出先の確認や、質問や報告事項の記入の練習を行う。</p>

③家庭にて準備物の写真をクロームブックで撮影し、ロイロノート・スクールの持ち物準備カードに挿入し、担任に提出する。質問や報告事項があるときは直接持ち物準備カードに書き込む。

●明日〇〇はありますか。

●お父さんに〇〇を確認してもらいました。

④担任からの返事を確認し、準備の見直しを行う。

○訂正箇所や見直すポイントが分かりやすいように、ペンの色を変えたり、端的な言葉でコメントを書いたりするようにする。

単元の評価

- ・時間割を確認して「委員会では〇〇ありますか。」と教師に質問したり、「〇〇の紙(書類)どうすればいいですか。」などと相談したりしながら連絡帳の持ち物欄やメモ欄に書き込み、翌日の準備のための手掛かりを整えることができた。
- ・連絡帳を手掛かりに授業や校外学習の準備を忘れずに行い、忘れ物なく学習活動に参加する習慣を付けることができた。

情報活用能力の評価

- ・ロイロノート・スクールを活用し、水筒を学校に置き忘れた際に「すいとうわすれました ペットボトルもっていきます。」と持ち物準備カードに代替案を書き込んだり、提出物について「〇〇あしたもっていきます。」と家族と話して決めたことを書き込んだりして担任に送り、報告することができた。
- ・担任からの持ち物準備カードの返事を確認することで、連絡帳の持ち物欄とメモ欄を見直し、準備し忘れていた作業服や授業ファイルなどの準備物を整えることができた。
- ・家庭での余暇の時間に、クロームブックのスクリーンショット機能とロイロノート・スクールの表への図の挿入、文字の書き込み機能を用いて、趣味であるサッカーの選手や試合結果のこと、家族に購入してもらった道具について調べ、図や写真に直接紹介したいことを書き込んで担任に送り、教師や友達に紹介することができた。

情報活用能力の育成ポイント

① クロームブックのカメラアプリを用いた対象物の撮影

- ・連絡帳のメモ欄を手掛かりに、翌日の学校に必要な準備物がクロームブックの画面の中央にくるように合わせて撮影する。
- ・過不足なく準備物を整えられていたか、適切に撮影できていたかを連絡帳と提出したカードを照らし合わせて確認する。



② ロイロノートの基本的操作の獲得

- ・写真を表の適切な場所に配置する。
- ・適切な提出箱にカードを提出する。
- ・担任に質問したいことや報告したいことがあった場合は、カードに直接書き込んだり写真を挿入したりして送る。

